

## 第三者評価結果入力シート（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名  

特定非営利活動法人エール・フォーユー
--------------------

②評価調査者研修修了番号

SK2021039
SK2021041
SK2021040

③施設名等

名称：	乳児院はやぶさ
施設長氏名：	松田英彦
定員：	20名（認可定員）、15名（暫定定員）
所在地（都道府県）：	山形県
所在地（市町村以下）：	山形市小白川町二丁目3番1号
T E L：	023-616-5080
U R L：	<a href="https://yamagata-saiseikai.org">https://yamagata-saiseikai.org</a>
【施設の概要】	
開設年月日	2019/4/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人恩賜財団済生会支部山形県済生会
職員数 常勤職員：	24名
職員数 非常勤職員：	4名
有資格職員の名称（ア）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	3名
有資格職員の名称（イ）	保育士
上記有資格職員の人数：	14名
有資格職員の名称（ウ）	医師
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（エ）	看護師
上記有資格職員の人数：	6名
有資格職員の名称（オ）	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（カ）	管理栄養士
上記有資格職員の人数：	1名
施設設備の概要（ア）居室数：	
施設設備の概要（イ）設備等：	
施設設備の概要（ウ）：	
施設設備の概要（エ）：	

④理念・基本方針

【理念】	子どもには夢がある。希望がある。未来がある。そして、夢は大きな力となる。限らない探究心と、どんな困難にも立ち向かっていく強い心、生きる力を持った子どもに育てていく。
【基本方針】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりの幸せを願いながら、いのちと健康の大切さを伝え、安心であたたかい環境の中で、心身ともに健やかに、そして、社会に適応するよう育成されることを保障する。</li> <li>・子どものありのままの姿を受け止め、子どもの気持ちに寄り添って個性を大切に育てる養育を実践していく。</li> </ul>

### ⑤施設の特徴的な取組

医療・介護・予防に児童福祉を加えた複合型施設「小白川ケアセンター」内に山形県初となる民間立乳児院として開設した乳児院はやぶさは、センター内全体で研修等を行い、連携を図りながら全職員で取り組んでいます。

#### <運営方針>

- ・社会的養護が必要な児童を、できるだけ家庭的な環境の中で養育し、子ども一人ひとりの人権の尊重と乳幼児期における育ちを保障する。
- ・済生会のスケールメリットを生かし、はやぶさ保育園をはじめ、同事業及び他事業間の連携を推進し、より良い養育環境の構築に努める。
- ・職員は自己研鑽に励み、院内外の研修を通し、養育技術の習得と資質向上に努める。

#### <職員行動指針・・・私たちの誓い>

1. 利用者第一主義：私たちは、誰に対しても思いやりと誠実な心で接します。
2. 人権の尊重：私たちは、ご利用者様の個性や意思を尊重し、その人らしい生活を支援します。
3. 地域との関わり：私たちは、地域住民・行政機関や保健・医療・福祉・学校等関連分野との関係を大事にし連携を強化します。私たちは、施設の機能を充実するとともに地域に開放します。
4. 安心・安全：私たちは、ご利用者様の健康に配慮し、事故防止・安全対策に努めます。
5. 法令遵守：私たちは、すべての場面において法令・社会ルール等を遵守します。

私たちは、いかなるハラスメント行為も行いません。

6. 秘密保持：私たちは、すべてのご利用者様の個人情報保護に努めます。
7. 資質の向上：私たちは、すべてにおいて良質なサービスを提供するために組織及び個人の質の向上に努めます

#### <養育目標>

- ◇心身ともに健康でたくましい子ども
- ◇粘り強く最後まであきらめない子ども
- ◇素直で思いやりのあるやさしい子ども
- ◇個性豊かで自律した子ども
- ◇笑顔あふれる元気な子ども

### ⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2022/9/6	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2023/1/13	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	初めて	

### ⑦総評

#### ◆特に評価の高い点

##### 1 子どもを尊重した養育・支援について

養育理念・養育方針・運営方針・養育目標を掲げ、済生会のスケールメリットを生かし内陸地域に開設して4年目の民間運営施設です。親・子間の愛着形成は人生の土台となる大切な時期であり、入所から退所までを担当養育者と個別に関わり、きめ細やかに一人ひとりの子どもに寄り添った養育を行う「担当養育制」を取り入れて子どもの安定した生活に繋がっています。退所後を見据えて里親へ幅広い支援、児童相談所・市町村との連携をしています。保育士・看護師・社会福祉士・栄養士等それぞれの立場からチームとして関わり、より充実した養育・支援を全職員が連携・協力し行っています。

##### 2 職員育成・資質の向上に向けた取り組みについて

職員の教育・研修に関する基本方針や計画を策定し、職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保され、基本方針に沿って職員の資質向上や専門性を高めるため、希望を踏まえ院内外の研修・学習会に積極的に参加し復命をもとに全職員が共有しボトムアップを図っています。新人・新入職員の研修時には先輩職員がマンツーマンで指導し、教育を行うプリセプター会議を行っており、振り返りや学びの場とし後輩育成や横のつながり、いつでも相談できるよう職員の安心感や居場所づくりを行っていることで成果を上げています。人事考課制度を導入して一人ひとり半期ごとに目標設定を行い、施設長との面談で課題や問題点を明確にしたうえで、目標達成できるようアドバイスを受けスキルアップに繋がっています。

#### ◆改善を求められる点

##### 1 中・長期的なビジョンを明確にした計画の策定について

法人としての中・長期計画（平成30年度～令和4年度）の策定を行い、理念や基本方針に沿った果たすべき役割等を明確にしています。人材確保や育成等には単年度ごとに重点目標を定め取り組んでいるが、次期は理念等に掲げ大切にしている養育・支援を基盤に捉えて、乳児院に求められている役割や機能等を検討し、経営課題や新たな分野へ向けた具体的な内容について、数値目標や具体的な成果等を設定した中・長期的なビジョンの策定について明文化されるよう期待します。

### ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

平成31年4月に開設して以来、今回初めて受審をさせていただきました。受審前から丁寧なご説明とご指導を頂戴し、受審当日もとても親切にご対応いただきました。感謝申し上げます。まだまだわからないことがたくさんありますが、この度の結果を踏まえ、業務の標準化とレベルアップ、更には、職員ひとり一人の資質向上に繋がってまいりたいと思います。また、入所児童の人権と最善の利益を保障しつつ、どんな困難にも立ち向かう強い心と人にやさしい人間になれるよう、日々の養育力を高め、地域社会に貢献できますよう精進してまいります。今後ともご指導賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### ⑨第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（乳児院）

### 共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	b
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>理念・基本方針・運営方針・養育目標・職員行動指針を定め、育児室や事務室に掲示している。年度初めや入職時に施設長が職員へ説明と各会議や振り返りの時間でも周知し理解を得ている。保護者や関係機関にはお便りや広報紙、ホームページを利用して周知している。</p>	

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等適切に対応している。	第三者 評価結果
<p>① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。</p>	b
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>毎月状況の把握と分析を行い、法人内の医療福祉センター・小白川ケアセンター経営者管理会議等でも報告し動向を踏まえている。児童相談所や関係機関等と連携し、施設を取り巻く環境や課題を分析して施設運営に取り組んでいる。</p>	
<p>② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</p>	b
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>法人内での会議や理事会で状況の報告・分析し承認を得ている。全職員で議事録を閲覧して共有し事業計画や業務改善・コスト削減等を行い施設運営と維持管理に取り組んでいる。</p>	

### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	
<b>【判断した理由・特記事項等】</b>		
中・長期計画は、法人として平成30年度から5年間の計画を策定しているが、乳児院はやぶさは平成31年4月に開設のため、果たすべき役割等を示し実施計画としている。社会情勢の把握や変化等を踏まえ、全国に7施設ある法人内乳児院との連絡協議会があり、オンラインでの研修や情報交換を行い令和5年度からの計画を検討中である。		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
<b>【判断した理由・特記事項等】</b>		
中・長期の計画から単年度の事業計画で重点目標を掲げ、取り組み等を具体的に定め目標を数値化し達成率を示している。児童相談所とも相談し委託里親と協議してマッチング等の行事をタイミングよく実施しているほか、主催での研修では現場の課題等を盛り込んだ内容を実施して安心・安全な養育に活かしている。		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	
<b>【判断した理由・特記事項等】</b>		
事業計画については、全職員でグループワークを行い前年度の実績や課題を踏まえ反映している。毎年度末に施設長が全職員へプレゼンテーションを行い周知し、共通理解を得て評価・見直しを行っている。		
②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>広報紙「はやぶさっこ」を発行して保護者等に周知を図っている。ホームページやブログでの発信もっており、実親や里親の面会時やプレパパ教室(これからパパになる方の育児教室)・育児教室、里親交流会時も事業計画の説明を行い周知している。</p>
--

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
<p>① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p> <p><input type="checkbox"/>組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/>定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。</p> <p><input type="checkbox"/>評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。</p>	b

<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>養育会議では、多職種職員の声を拾って話し合い、一人ひとりの課題を分析・検討して養育計画を立てている。職員は課題やキャリアに合わせた研修を受け、報告書等はいつでも閲覧でき全職員が共通認識をもって取り組み質の向上に繋げている。</p>
--

<p>② 9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。</p> <p><input type="checkbox"/>職員間で課題の共有化が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。</p> <p><input type="checkbox"/>評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。</p>	b
---	---

<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>養育に関するアンケートを職員に実施して、処遇方針の共有や養育の在り方の評価・検討を行っている。会議等で出された課題は短期や中・長期に分けて業務改善計画を立て取り組んでいる。</p>
---

## II 施設の運営管理

### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
<p>① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。</p>	b

<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>管理運営規則に明記し、職員会議等においても役割・責任を明らかにして理解を得ており、勤務の都合で参加できなかった職員へは、会議議事録を回覧して周知している。施設長不在時の代行業務担当の委任も明確に示し、周知もしている。</p>
---

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

施設長は全職員に法人作成のパンフレットを用いて、毎年検証等も含めコンプライアンス（法令遵守）の研修会を行っている。全国乳児福祉協議会の乳児院倫理綱領のチェックポイントを定期的に使用し自己点検もしている。関係法令等は、その都度会議等で法令遵守について内部研修し周知を図っている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	

【判断した理由・特記事項等】

施設長は職員の人事考課や面接、日頃から職員とコミュニケーションを図りながら、気づいた点や意見等を収集し一つ一つ丁寧に仕事できるよう助言・指導を行っている。自己研鑽としてオンラインを活用しいろいろな方々の話を聞き、学んだ内容を取り入れ質の向上に取り組んでいる。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	

【判断した理由・特記事項等】

施設長は施設の状況を分析し、法人内の医療福祉センター会議に報告して、関係機関と連携して実効性を高めるための経営改善を行っている。職員の意見等を取り入れ、ユニット制やクラス担当など、勤務体制にも配慮して人員配置や働きやすい環境づくりに努めている。

## 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	<p>14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。</p> <p>(社会的養護共通)</p> <p><input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】		
県内の学校に声がけし、毎年法人内の保育所と合同就職説明会を開催している。説明会を経て学生の就職につながった実績もある。またプリセプター制度も導入し、初任者が働きやすい環境を整えている。		
②	<p>15 総合的な人事管理が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。</p> <p><input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】		
法人の取り組みとして、半期ごとに施設長が職員に対し個人面談を実施している。その際、職員が自ら個人面接票を以て目標設定し、その達成度や課題を施設長と共に振り返り、人事考課に反映している。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	<p>16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。</p>	b
【判断した理由・特記事項等】		
休暇や有給休暇・残業等は全て法人のシステムで管理し、施設長が確認している。苦情解決やハラスメント防止規定等は法人本部や支部で様式を整備しており、職員が相談しやすい体制を整えている。正規職員のほか臨時職員やパート職員も雇用し、勤務体制の充足を図っている。		

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

法人として、「職員行動指針・・・私たちの誓い」を通じてあるべき職員の姿を明示している。定期的に施設長との個人面談にて目標設定や課題解決を行い、職員にも自己啓発を促している。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

研修に関する計画を策定し、同建物内で行う小白川ケアセンター全体研修や、はやぶさでの研修も実施している。また費用の発生する外部研修も積極的に職員に受講させるなど、自己研鑽しやすい環境整備を図っている。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【判断した理由・特記事項等】

職員の勤務年数や経験や能力に応じた教育・研修が準備されており、また初任者にはプリセプター会議を通じて経験者と初任者との学び合いの関係づくりを積極的に行っている。また初任者同士・教育者同士で相談できる体制づくりも行っている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 <input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢をマニュアル化している。 <input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。 <input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。 <input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	a
【判断した理由・特記事項等】		
施設は守秘義務の厳守が必須であるため、誓約書等の整備、事前説明や配慮事項をマニュアル化して整備している。養成校と連携し積極的に近隣の学生にアプローチし、実習生も積極的に受け入れている。		

### 3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 <input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。 <input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。 <input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。 <input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。 <input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
福祉医療機構のホームページでの情報公開、法人のホームページへの掲載、小白川ケアセンター事務所に運営資料を備え置きし公表している。施設概要をパンフレットに記載し、近隣自治会・公民館・地域包括支援センター等に配布している。		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。 <input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	a
【判断した理由・特記事項等】		
法人本部・支部の内部監査を実施している。法人での有限責任監査法人による外部監査も導入し、経営状況を確認できている。		

#### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	
<b>【判断した理由・特記事項等】</b>		
子どもと共に地域に散歩に出かけ、地域住民や消防本部、交番の方、パン屋等と盛んにコミュニケーションをとっている。コロナ禍以前は公園での花火に参加する等、地域の行事にも参加していた。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	
<b>【判断した理由・特記事項等】</b>		
ボランティアマニュアルを整備し、コロナ禍以前はヘアカットや学生ボランティアの受け入れを実施していた。また、学生のインターンシップの受け入れも実施し、就労につながった事例もある。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	
<b>【判断した理由・特記事項等】</b>		
山形県里親支援機関主催の里親養育委員会に頻回に参加し、里親の育成に努めている。また市町村養育支援会議や要保護児童対策地域協議会に参加している。		

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。 (社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。 (5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	a
【判断した理由・特記事項等】 地域ニーズにこたえるために近隣市町村と契約を締結し、ショートステイも徐々に契約が増えている。またプレパパ教室を毎月第3土曜日に実施し周知や普及を図り、地域の多様なニーズにこたえている。定期検診での状況や様々な機会を捉えて、様々なニーズを把握することに努めている。		
②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。 <input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。 <input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。 <input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。 <input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。 <input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	b
【判断した理由・特記事項等】 里親支援を目的とした里親交流会、プレパパ教室を定期的に開催し、里親制度の周知を図っている。またホームページやブログを通じて施設の役割等を対外的に定期的に発信している。		

### Ⅲ 適切な養育・支援の実施

#### 1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。 <input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	a
【判断した理由・特記事項等】 子ども一人ひとりに自立支援計画を策定し、看護師長や主任リーダーがチェック、助言と計画作成に生かしている。また子どもの尊重について共通理解を深めるために、児童相談所に研修を依頼している。		

②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	

【判断した理由・特記事項等】

プライバシー保護マニュアルを整備している。また施設職員においても内部研修等を通してプライバシー保護の重要性を周知学習している。保護者の面会時も子どもの権利保護を目的に、事前に取り決めを行っている。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所からの許可により、保護者にパンフレットや入所のしおりを用い説明している。保護者の見学は建物や生活の様子、どんな活動をしているかを見て安心感を得て、信頼関係をつくるのが大切と考え情報提供している。

②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【判断した理由・特記事項等】

「養育マニュアル」に説明内容や手順を定めている。保護者によって、児童相談所との間で意思決定がなされることもあり、児童相談所の方針をよく確認し十分に連絡をとって保護者の情報がもらえるようにしている。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【判断した理由・特記事項等】

退所後の相談は担当窓口を決めて対応し地域・家庭への移行にあたっては生活習慣等について書面で伝えている。他施設に措置変更となる場合は、2～3回ほど施設に行って過ごし慣れるようにしたり、職員が互いに訪問し情報交換を密に行っている。児童の養育支援員会や里親交流会に関わっている。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	(乳児院) <input type="checkbox"/> 子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	
	(乳児院) <input type="checkbox"/> 職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

2交替の担当養育制をとり、小グループで養育している。入浴は養育者と1対1の時間としている。他職種によるカンファレンスで子どもの様子を確認し、必要に応じて助言し改善を図っている。保護者の意向は、面会時や児童相談所を通して確認している。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	

【判断した理由・特記事項等】

法人として苦情解決の仕組みを決め対応している。面会時等に相談窓口となる担当者を口頭で説明し、苦情解決は組織として解決する体制としている。苦情内容と解決の記録は、児童記録、インシデント・アクシデントレポートに記載している。また、小白川ケアセンター全体として定期的に取りまとめ委員会で検討している。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	

【判断した理由・特記事項等】

相談は担当養育者の他、主任社会福祉士や師長が中心に対応し、内容によってはパンフレットに記載し組織的に対応している。「投書箱」は施設が入っている建物の一階玄関に設置し、毎週確認している。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所を通して保護者の意見や相談を聴取し、児童相談所の方針に沿って連携して対応している。新任者等が、保護者等からの相談や意見に対して自分で判断できない場合は、クラスリーダー保育士やプリセプターに速やかに報告・連絡・相談するようにしている。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

防犯カメラや電子錠を設置し、建物の全体のリスクマネジメント体制として実践している。インシデントアクシデントレポートは報告の仕組みが構築されており、重大な事例は検討し再発防止に努め、安心・安全な養育・支援につなげている。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	

【判断した理由・特記事項等】

感染症対策マニュアルに基づいて取り組み、予防や対策を強化し、感染症が発生した場合は、隔離し動線を分け子どもの安全確保に努めている。感染症対策委員会で研修を企画実施し、防護服の着脱や吐物処理など具体的に学んでいる。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	

【判断した理由・特記事項等】

災害時の対応マニュアルにより体制が定められている。東日本大震災の教訓を生かし、夜間に災害が発生した時の応援体制がとられている。避難訓練は地震、火災等を想定し月1回行っている。建物は耐震性があり、発電設備やスプリンクラー等設備が整っている。食料や衣類品等も備蓄している。

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	

【判断した理由・特記事項等】

「養育マニュアル」と各種手順書により、標準的な養育・支援が行われている。職員への周知徹底のため、プリセプター制度やクラスリーダー保育士により、児童に関わる記録をその都度点検確認し指導している。全員同じテーマでの院内研修や月1回の養育会議、記録類を閲覧し共有している。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	

【判断した理由・特記事項等】

業務・安全・養育の各部門のリーダーが、業務検討会議を月1回開催し、マニュアルや養育支援方法について見直し、修正を行っている。年度末には職員のアンケートにより意見やアイデアを集めている。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	

【判断した理由・特記事項等】

入所時にはこれまでの経過を把握し、月齢による成長発達指標に照らして確認している。自立支援計画は担当養育者が作成している。半年ごとに評価と見直しの手順にそって変更し、児童相談所に送付し連携している。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画に基づき、毎月個別カリキュラムを作成して養育・支援を行い、毎月のカンファレンスによって適切に実施されているか確認している。半年に1回自立支援計画を見直し、随時児童の姿や保護者の情報を反映し更新している。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの閲覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	

【判断した理由・特記事項等】

入所児童の個人ファイルに、アセスメントシートや個別カリキュラム、日々の養育の記録等をファイリングしている。記録内容についてクラスリーダー保育士が指導し、適切な記録となるように努めている。職員会議や会議録の回覧、パソコンの記録システムや伝達ノートで情報が正確にタイムリーに共有される仕組みとしている。

②

45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。

b

個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。

個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。

記録管理の責任者が設置されている。

記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。

職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。

個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

【判断した理由・特記事項等】

個人情報保護規定、個人情報におけるマニュアルを整備し職員に周知している。職員は入職時に守秘義務などについての研修を受けている。施設長が責任者となり、子どもの記録等は施錠して管理保存している。パソコンは各自パスワードを設け、記録は記録者本人しか追加記入できない設定としている。

内容評価基準（22項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
<p>① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p>	a
【判断した理由・特記事項等】	
<p>子どもの権利「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の保障を責務とし、職員は子どもの権利擁護の研修に参加して、共通認識のもと養育している。スーパービジョンの体制を整備し、師長・主任が講師となり研修し意識向上を図り、全国乳児福祉協議会作成の乳児院倫理綱領のチェックポイントを活用し予防的な支援、早期発見に取り組んでいる。</p>	
(2) 被措置児童等虐待の防止等	
<p>① A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりについて、具体的な例を示し職員に徹底している。</p> <p><input type="checkbox"/>会議等で取り上げる等により、不適切なかかわりが行われていないことを確認している。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>不適切なかかわりがあった場合の対応方法等を明文化している。</p> <p><input type="checkbox"/>被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。</p>	a
【判断した理由・特記事項等】	
<p>職員は施設長から不適切なかかわりの防止について、講義や面談等を受け理解している。養育会議等では様々な事例を参考にして、乳幼児中心になるよう乳児院倫理綱領のチェックポイントを用いて研修し、普段の関わりのなかで早期発見や防止について努めている。</p>	

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本	第三者 評価結果
<p>① A3 子どものころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。</p> <p><input type="checkbox"/>どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/>特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。</p> <p><input type="checkbox"/>担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/>語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体のふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。</p>	a
【判断した理由・特記事項等】	
<p>担当養育制をとり、入所から退所まで過ごし養育者と愛着関係を築いている。子どもの月齢・年齢を考慮したユニット制とクラス担当・チーム担当として、同じスタッフが対応することで一人ひとりの子どもに寄り添い安心して養育できるよう取り組んでいる。</p>	

②	A4 子どもの生活体験に配慮し、子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
	<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	
	<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	
	<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。	
	<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	
	<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	

【判断した理由・特記事項等】

子どもの月齢・年齢を考慮した院外養育で散歩に行き近所のパン屋さんで買い物をして食べ、トマトの苗を購入して植栽し水やりなどの生活体験を取り入れている。常に一緒にいることで訴えのサインを見逃さないよう言葉掛けに工夫している。

(2) 食生活

①	A5 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	
	<input type="checkbox"/> 生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。	

【判断した理由・特記事項等】

調乳・授乳マニュアルを策定して共通理解のもとで行っている。愛着形成の基本にのっとり、授乳用クッションを利用して安心してゆったりと授乳できるよう取り組んでいる。

②	A6 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。	
	<input type="checkbox"/> 食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。	
	<input type="checkbox"/> 噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。	

【判断した理由・特記事項等】

食事は業務委託となっているが、厚労省で示したガイドに基づいて基本的な援助方法を共有し、養育者・栄養士・看護師等と連携して月齢・年齢に合わせて離乳食を開始し子どもの発育や発達に合わせ提供している。栄養士からメニュー内容のチェックやアレルギーのある子どものメニューのアドバイス等ももらっている。

③	A7 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気ですぐに食事ができるよう工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。	
	<input type="checkbox"/> 養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。	
	<input type="checkbox"/> 食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと目線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。	
	<input type="checkbox"/> 日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。	
	<input type="checkbox"/> お腹がすくりズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。	
	<input type="checkbox"/> 栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。	

【判断した理由・特記事項等】

月齢・年齢に合わせた食器類等を使用し、養育者や他児と一緒に同じテーブルで楽しく食べている。食べ残しをチェックし幼児食喫食観察簿に記入し、栄養士と食べる様子や食事の量などを見て相談、おいしく食べられるよう配慮している。

④	A8 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
	<input type="checkbox"/> 十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	
	<input type="checkbox"/> 栄養だけではなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	
	<input type="checkbox"/> さまざまな「食育」への取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	

【判断した理由・特記事項等】

栄養士は栄養目標量に合った献立作成と食事提供を、毎食の幼児食喫食観察簿を点検して依頼し、業者が作成した献立を調理・食事提供している。食物アレルギーの子どもには別メニューや体調の変化・疾患に配慮してヨーグルト・ふりかけ・ジュース・麦茶など工夫して飲食している。買い物体験や行事食を取り入れるなど、様々な食育にも取り組んでいる。

(3) 日常生活等の支援

①	A9 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	
	<input type="checkbox"/> 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	
	<input type="checkbox"/> 寝ている生活が主なときは前開きのものを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 衣類は個別化し、個人別に収納している。	

【判断した理由・特記事項等】

環境整備の係が衣類の管理をし、子どもごとにタンスに衣類を収納し年間計画に基づいて衣替えなどに対応している。衣類は適宜子どもの成長に合わせて購入している。

②	A10 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	
	<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

0歳児は5分おきに、1・2歳児は10分おきに呼吸確認を行い睡眠チェック表に記録、乳児にはベビーベッドにセンサーを設置している。仮眠時もそばで添い寝し、応答よく対応する工夫をしている。居室は常に適切な温度・湿度となるよう調整している。

③	A11 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	
	<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。	
	<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	

【判断した理由・特記事項等】

沐浴・入浴マニュアルを整備し、1対1で一緒に入浴する等家庭的な雰囲気の中で安全に楽しく入浴できるよう配慮している。またその際に身体観察も行っている。

④	A12 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、排泄への興味が持てるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

養育計画に基づき子どもの成長に合わせた援助方法を立案している。排泄マニュアルを整備し、子どもの快・不快や応答よく対応できるケアを実施している。

⑤	A13 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。	
	<input type="checkbox"/> 養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。	

【判断した理由・特記事項等】

玩具はほとんどがクラス共有となり、常に消毒し洗えるものは定期的に洗濯し清潔を保持している。午後の自由遊びの時間には、子どもの発達に合わせた玩具を用意し一緒に遊んでいる。クリスマスには好きな玩具をプレゼントして、個別の玩具としている。

(4) 健康

①	A14 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	

【判断した理由・特記事項等】

毎日定期的に健康確認を行い、日誌に記録している。異常が認められた場合は嘱託医や夜間診療を活用してすぐに対応している。定期検診は出身地域の保健師と情報共有する目的から、できるだけ出身地域で実施している。

②	A15 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	
	<input type="checkbox"/> 異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	

【判断した理由・特記事項等】

養育計画に基づき、子どもの持病や特性を全職員が把握している。発作時などに同じ対応ができるよう、状況に応じて動画を撮影し情報共有も行っている。また研修で、持病やよくある症状の理解を深める工夫をしている。

(5) 心理的ケア

①	A16 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 心理的な支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的な援助を行える体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 心理的なケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画に情緒、愛着に関する目標を掲げている。臨床心理士により子どもの定期的な発達検査を行い、養育・支援に反映している。発達障害の子どもとの関わり方は、職員が研修を受け他の職員にも伝達している。保護者への心理的支援は児童相談所が対応している。面会は保護者の体調や心情に配慮し行っている。

(6) 親子関係の再構築支援等

①	A17 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	
	<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気を大切にしている。	
	<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	
	<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に対応するための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	

【判断した理由・特記事項等】

保護者からの相談、訴えには家庭支援専門相談員が窓口となり対応している。児童相談所と連携し、家族との連絡や交流調整を行なっている。児童相談所を通して連絡をとる家庭には、年に1~2回程度ミニアルバムと手紙で近況を伝えている。

②	A18 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	
	<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	
	<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	
	<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

面会時には家庭支援専門相談員が同席し、保育士のほか必要に応じて管理栄養士や看護師などが保護者を指導し、自信を持って子育てできるよう支援している。家庭復帰が目標の場合、面会、外出、宿泊などと段階を踏んで調整している。児童相談所の担当児童福祉司と子どもや家族の情報を共有し、関係機関と連携を図っている。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

①	A19 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの退所先に応じて、退所後の生活に向けて必要な支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 退所後、施設に相談できる窓口(担当者)がある等、必要に応じた支援をするための体制を整えている。	
	<input type="checkbox"/> 児童相談所や関係機関、民間団体等と連携を図りながら退所後の支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

担当養育者が新しい生活に向けて子どもに話をする時間をとっている。退所後の相談は家庭支援専門相談員が窓口となり対応し、必要に応じて他職種や他機関と連携している。子どもができるだけ安心して生活できるよう、これまでの生き立ちがわかる「マイ絵本」を持参してもらい、退所先に訪問し人的交流を行っている。

(8) 継続的な里親支援の体制整備

①	A20 継続的な里親支援の体制を整備している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育単位の小規模化による家庭的養護の推進や、早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親委託を推進している。	
	<input type="checkbox"/> 里親委託の推進に当たり、里親支援機能の充実などの中・長期計画を明確にしている。	
	<input type="checkbox"/> 里親支援専門相談員を配置するなど、里親委託の推進、地域の里親及びファミリーホームに対する継続的な支援の体制を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 里親委託に当たり、委託に至るまでに里親・児童相談所等と丁寧な連携を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 里親を希望する地域の人を対象に相談を行うなど、支援の取り組みを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談支援のほか研修、レスパイトを行うなど、里親の状況に応じた取り組みを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

早期に家庭復帰が見込めない場合については、児童相談所に里親委託について提案している。児童相談所と連携し、子どもと里親との交流の他、里親のレスパイト・ケア、未委託里親の研修会、新規開拓のための周知活動をしている。

(9) 一時保護委託への対応

①	A21 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携して、初期の情報共有とアセスメントに努めている。	
	<input type="checkbox"/> 一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 入所時の健康管理に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症やアレルギー等の観察と配慮に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 多様な職種が連携・協同し、一時保護後の養育環境(家庭復帰・里親、児童福祉施設等)の確保に向けてアセスメントに基づく支援を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

児童相談所と連携し、施設の所在する地域についてはほぼ受け入れている。健康管理に努め、子どもが落ち着いて過ごせるように配慮している。一時保護後の養育について、面会に立ち会ったり保育所に情報提供するなどして支援している。

②	A22 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。	
	<input type="checkbox"/> 緊急一時保護を受ける際のマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 観察室での「観察期間」の実施を順守して対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 入所時に、必要に応じて医療機関との連携をはかる等の対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 感染症や潜伏期間等への対応が十分にできている。	
	<input type="checkbox"/> 受け入れ後の多職種による連携したアセスメントが実施されている。	

【判断した理由・特記事項等】

緊急一時保護委託を受ける際は、養育責任者に受け入れの相談、確認をして決定している。夜間帯、土・日曜日の受け入れもしている。入所後は健康観察や健康管理に努め、必要に応じて医療機関を受診している。感染症が疑われる場合は個別に対応している。